

平成30年度 法学類卒業論文執筆・提出要領について

- ① 「卒業論文」を履修しようとする者は、あらかじめ、おおよそのテーマと指導教員を決め、指導教員の承認を得た上で、所定の申請書を4月20日（金）17時までに教務係（法学類担当）へ提出するとともに履修登録期間中に Web 履修登録を行うこと。
- ② 履修者は4年前期・後期を通じて指導教員の指導を受けることになる。ただし、「卒業論文」のための授業時間は時間割表の中に固定的に組み入れられていないので、適宜指導教員の指示に従うこと。
- ③ 論文は、次の要領で作成すること。
 - (ア) 14,000 字程度とする。
 - (イ) 原稿はA4判横書き、40字×35行を原則とする。
 - (ウ) 本文にはページ数を記入し、目次、論文要旨（800字程度）をつける。
 - (エ) 表紙と裏表紙（黒表紙等）をつけて、左とじにする。
 - (オ) 表紙には、論文題名・氏名・名列番号・学籍番号・指導教員名・提出年月日を記入する。
- ④ 論文は、承諾書を添えて教務係（法学類担当）へ2部（原本及びコピー1部）提出し、電子媒体（PDF原稿）も論文提出後1週間以内に提出すること（論文提出時に教務係で電子媒体の提出要領を配布する）。

論文が、「金沢大学人間社会研究域『人を対象とする研究』倫理指針」に定める「人を対象とする研究」に該当するが倫理審査の申請対象から除外される場合には、「学士課程の学生および特別別科学生による審査申請の除外に係るチェック」（様式はhttps://www.kanazawa-u.ac.jp/collegeschool/10_hs/rinri/からダウンロードのこと）も論文と共に1部提出すること。なお、倫理審査の申請対象から除外されるか否かは指導教員が判断します。

なお、電子媒体（PDF原稿）及び「学士課程の学生および特別別科学生による審査申請の除外に係るチェック」はアカンサスポータル上で公開する。

- ⑤ **下記の提出期限を厳守すること。**交通事情・天候など不測の事態が起こりうるため、期限より前に提出することが望ましい。
平成31年1月17日（木） 12:00
（平成30年7月12日（木） 12:00 9月卒業予定者）

- ⑥ 論文の判定結果は、他の授業科目と同様に、S・A・B・C・不可で表示し、合格者には6単位を与える。
- ⑦ なお、同一テーマにつき、数名の者が共同して卒業論文を履修しようとする場合においては、一人あたりの論文枚数は上記③の要領に準じるものとする。
その場合、執筆分担部分を特定しない論文については、論文のはじめに、論文作成に至る経過と各履修者の役割分担を具体的に明記すること。評価は、論文全体の評価を考慮した上で、履修者ごとに行う。

平成 年 月 日提出

法 学 類 長 殿

法 学 類 _____ コース _____ 年

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

名列番号 _____

指導教員 _____ 教員

氏 名 _____ (印)

「卒業論文」受講申請書

「卒業論文」の受講を下記のとおり申請します。

記

論文題名 (又はテーマ)	指 導 教 員	承諾印

*この申請書を履修登録の上、期日までに教務係（法学類担当）へ提出してください。

別紙様式

卒業論文の
アカンサスポータル上での公開に関する承諾書

卒業論文題名

学 籍 番 号

学 類 ・ コー ス

法学類

コース

著 者 名

上記の卒業論文について、PDF原稿による公開を承諾します。

(注) PDF原稿はアカンサスポータルよりダウンロード及び印刷が可能な状態で公開されます。

金沢大学人間社会学域法学類長 殿

平成 年 月 日

氏名

印